
1年研究授業計画

東二番丁小学校 1学年担任 岡村真理

1 研究授業で目指す児童像

場面の様子や登場人物の気持ちに気付いたり想像を広げたりし、考えを伝え合ったり話し合ったりすることでさらに考えを広げたり深めたりすることができる。

2 児童の実態

物事に対しての興味関心が強く、前向きな姿勢で積極的に取り組もうとする児童が多い。学習において、指示されたことに真面目に取り組み、最後までやり遂げようと努力している。発表にも意欲的で、全体の前で自己紹介をしたり楽しかった経験を話したりすることができる。しかし、内容的には出来事のみを話し、自分の思いや感想まで話すことができる児童はまだ少数である。読むことに関しては、場面絵から様子を捉えたり登場人物の表情から気持ちを想像したりすることができる児童もいる。ひらがなの読み書きにおいては、ほとんどの児童が全てのひらがなが読め、9割の児童がひらがなを書くことができる。

3 授業研究計画

- (1) 登場人物の行動を中心に、場面の様子や気持ちを想像しながら物語を読み、友達同士で発表し合う授業
- (2) 登場人物の行動や会話に着目して、そのときの様子や気持ちを想像しながら物語を読み、友達同士で発表し合うことで考えを深める授業

4 授業技術課題

- ・分かりやすい発問や指示を行い、学習への見通しを持つことができるようにする。
- ・一人一人の実態を把握し、授業にせまるための見取りと意図的指名を行う。